



ちめん街道
料理旅館

井筒屋大料理通算27号

井筒屋の目標

↑2021年10月、がりがりにやせて井筒屋に助けを求めて来た元野良ハチジイ。みんなにかわいがられて今は丸々しています。(体重7kg)

「笑顔でいること、笑顔にすること。」

いつも井筒屋大お料理を読んで下さり、ありがとうございます。
暑い夏もようやく終わりましたがいかがお過ごしでしょうか？
井筒屋では、長年7畳のバス・トイレ付個室をご用意してまいりましたが、水回りの老朽化から、客室として使うのを中止して、リネン保管庫へ転用することになりました。

そして、「一つでも多くの伝統的な建物を活用したい」という思いから、井筒屋本館の向かいにある濱見家の「明治の離れ、小濱」も、井筒屋の客室の一つとして、予約管理させて頂くことになりました。



↑小濱の中庭
小濱に迎えるお客様の
ために、明治時代に
整備された庭です。



←小濱の五右衛門風呂
今は湯沸き専用ですが、
明治の趣きが楽しめる
お風呂です。



お磯野町には、小濱をはじめ、古くからの貴重な建物が
たくさん残されています。そういった建物をただ保存するだけ
でなく、活用し、次の世代に伝える。それも私達の役割かな、
と思っています。

Special Force Kさんから頂いた、じゃらんへの口コミ投稿です。

あなたは文化財に泊まる

日本の古い民家などが好きでしたら、此処はツボにはまるでしょう。女将さんのおもてなしと、仕込みに掛ける労力が感じられる、こだわりもとても好感が持てます。私が泊った民家の一軒は、文化財レベルではと思います。明治時代の五右衛門風呂健在（流石に薪で沸かしてはいませんが）。建物の随所に、歴史が感じられ、管理人のおばあさんとおかみさん両方から、色々な町の歴史にまつわるお話が聞け、非常に思い出に残る旅となりました。

Special Force K様、ご宿泊ありがとうございました！米国からの帰省の折とはいえ、ご実家が九州なのでかなり遠いと思うのですが、遠路はるばるお越し頂きありがとうございました！なにより、井筒屋のような小さな宿を選んでくださり、本当に感謝です！

口コミ投稿に書いていただいた通り、お泊り頂いた「明治の離れ・小瀧」は、明治に建てられた本物の古民家を、できるだけ手を加えない状態で宿にしています。もちろん、トイレや洗面などの水回りは快適に使えるように改修しています。ですが、床の間や飾り窓、襖絵、そして小瀧からしか見えない中庭と濡れ縁、五右衛門風呂等、ここでしか味わえない歴史的遺物はそのまま残しています。

小瀧の建てられた明治21年は、ちりめん街道の織物業が最も栄えた時代の一つでした。前年の明治20年に小瀧の周辺一帯が焼ける大規模火災があつたにもかかわらず、わずか一年で母屋と離れの小瀧を一気に建て直す財力。しかも、その後起こった昭和二年の丹後大震災の時には母屋も小瀧も大きな被害もなく、明治時代からのそのままの姿を現在まで伝えていきます。この丹後大震災を潜り抜けた建物はとても貴重で、多くの建物が地震の揺れとその後起こった火災で焼失してしまいました。残った建物はどれも良い建材と腕の立つ大工さんに建てられたものが多く、活用されないのが惜しい、そんな建物が多く残っています。

私たちはコロナの自粛期間中、古民家を改修して宿にしたり（赤野邸）、空き地を開墾して山菜畑を作る等、手探りではありましたが未来に向けた活動に注力してきました。与謝野町では今、昔の建物がどんどん取り壊されていますが、価値ある建物を活用して、地域の歴史ごと次の世代に伝えること、それも私たちの今後の至上命題の一つになりました。Special Force K様のように、その地域や建物の歴史にまで興味をもって頂けると、私たちもとても嬉しいです。本当にありがとうございました！

また、帰国の時にはぜひ井筒屋にお越しくださいね。今回は特別にメニューにない地酒をお出ししましたが、また面白い地酒と魚料理、そして地元の歴史をさらに深堀してお待ちしています。次にお会いできる日を楽しみにしています。



2023年7月発表！じゃらん AWARD 2022 「泊まって良かった宿大賞 - 夕食部門」 (近畿 北陸地域・50室以下) 第3位受賞させて頂きました！

じゃらんAWARDは、夕食・朝食部門が新設された2017年以降、夕食4回、朝食1回の合計5回受賞させて頂きました。じゃらんネットの口コミ投稿で井筒屋を応援して下さいましたお客様、本当にありがとうございます。そしてこれからもよくお願いいたします。



ちりめん街道料理旅館井筒屋は、明治23年の創業時は、地元のお客様にひいきに頂いた小さな和菓子屋でした。それから間もなく芸者遊びが出来るお茶屋になり、さらに料理が出せるように料亭になり、やがて芸者遊びの後そのま泊まれるように料理旅館になりました。そして、五代目にあたる板長・鈴木孝昌の代からは、代々続く建物を活かして、観光のお客様に地元産にこだわった料理をお召し上がり頂く料理旅館に生まれ変わりました。日本各地からお客様にお越し頂くのは、もちろん、板長のこだわりと努力のたまものでもありますが、創業以来店を守り継がれた先祖が、代々継いで下さった建物、食器、調度品等、井筒屋の歴史そのものがあつたからこそその栄誉だと思います。新しく作られた建物では出せない風情。そして一度壊したるなくなってしまう調度品や食器の数々。そんな井筒屋の料理やおもてなしはもちろん、歴史と趣も楽しんで下さったお客様へ、心から感謝の気持ちを入れて。

そして何れ、良い食材を提供して下さる農家様、漁業関係者の皆様。ちりめん街道にお越し下さるお客様を、温かくもてなして下さる地元住民の皆様。板長と女将が、本来の仕事に集中できるように、陰に、日向に支えてくれる、家族とスタッフへ。

板長 鈴木孝昌 女将 鈴木和女

発行日：令和5年10月 編集・発行 ちりめん街道料理旅館井筒屋

HP&ブログ：<https://www.chirimenkaido-idutsuya.jp/>

〒629-2403 京都府与謝郡与謝野町字加悦1050番地 電話：0772-42-2012

現在、仕入れと仕込みのため、火・水・木曜日は、医食同源会席をお休みしています。
(連休・盆・年末年始を除く)





古民家が好きすぎて 不動産の免許とりました(笑)

女将の両親は、大阪から丹後へ平成元年に物住して、
現在ペンション・コテージ自給自足を運営しています。が！実は
大阪の時は(有)コスモ・ジャパンという不動産会社もい
いました。今回、その会社を継承することになりました。

井筒屋裏手で開業しますので、

- 相続した空き家をどうしたらいいか悩んでいる方。
- 終活で家を手放したい方。
- 環境の良い田舎で子育てしたい方。
- 定年退職した田舎に住みたい方。
- セカンドハウスとして家を探している方。
- 1週間～数ヶ月のフコ物住を体験してみたい方。



↑空き家、移住、民泊
に関するご相談は、
(有)コスモ・ジャパン
公式LINEで！

ぜひご相談下さい。

物住者の立場で、丹後への物住・定住をサポートします。

有限会社コスモ・ジャパン

(不動産業・民泊) 京都府知事免許(1)14703号

与謝野町加悦1050番地(井筒屋裏)



代表取締役兼専任宅地建物取引士 **鈴木和女**

空き家活用ブログ↑興味のある
方はぜひご覧下さいね。

不動産無料相談承ります！(電話またはLINEでご予約下さい。)

電話 080-3348-8098

P.S 生まれて初めて仕事に役に立つ資格が取れました(笑)
ハチジイを拾った後に受かったので、招き猫かもしれませんね。